

アジア欧州会合（ASEM）第 11 回外相会合議長声明
（骨子）

平成 25 年 11 月 26 日現在

1. 冒頭

- 最近のフィリピン及びベトナムにおける台風被害者への連帯と支持を表明。ASEM が自然災害の緊急支援と復旧のための能力向上を図るべき。多くの ASEM 諸国がフィリピン及びベトナムの要請に応じて支援することをコミット。

2. 経済成長、持続可能な開発及び開発のためのパートナーシップの将来の方向性

- 世界金融危機軽減への取組やパートナー国の需要の低迷及び高い失業率等の懸念への取組における ASEM の有用性を再確認。アジアと欧州の経済・金融面の強い相互依存関係が ASEM に反映されるために、早期に経済閣僚会合を再開するよう促す。
- グローバルな成長のための開かれた多国間ルールに基づく多国間貿易制度の重要性を認識しつつ、保護主義に対する深い懸念を表明、保護主義的措置を撤回し、貿易・投資に対する新たな障壁、新たな輸出規制、WTO に整合的ではない措置の実施を避けるべき。12 月のバリにおける第 9 回 WTO 閣僚会議において WTO ドーハ・ラウンドの妥結に向けた実質的な進捗があることを期待。
- 世界的な金融規制改革が進行中。世界経済の構造変化に沿った改革の継続が重要。遺伝子資産、伝統的知識、民俗伝承、模造品・海賊版対策を含む知的財産権の保護が必要。
- アジアと欧州の技術・金融能力及び官民パートナーシップが新興国において高まるインフラ需要を満たすことができるよう努力を強化すべき。インフラ投資は持続可能な経済成長、貧困削減、若年層の雇用創出に不可欠。
- 世界経済・金融への共通した取組を調整する G20 の努力を歓迎。豪州が G20 議長国の優先事項に関するブリーフを実施。
- 過去 17 年間の ASEM における政治対話の成熟した経験が、アジアと欧州の政治、経済、社会の 3 分野での架け橋の機能として活用されるべき。特に、物品、サービス、資本、人により効率的な流れのための地域内、地域間の連結性強化及び開発ギャップ縮小の必要性を強調。
- ASEM を通じた人材育成の可能性を認識。民間の参画を促し、長期戦略として技術移転を行うことにより、教育における質的向上、雇用創出、経済発展を実現。

3. 非伝統的な安全保障上の課題

- テロ、麻薬取引、マネーロンダリング、サイバー犯罪といった非伝統的な安全保障上の課題は、地域及びグローバルな安全保障に深刻な影響を及ぼす。テロに対する包括的な取組が必要。また、海賊、密輸、越境犯罪、人身売買、武器貿易、動植物の貿易、疫病といった台頭する脅威に対処するために協力強化が必要。
- 気候変動は、引き続き重要な課題。ASEM パートナー国は、国連気候変動枠組条約の全原則・規定に従い気候変動及び環境保護に共同で取組むとのコミットメントを強調。グリーン気候基金の実用化に向けた協力の必要性を強調。
- 2014 年にフィリピンで気候変動と防災技術に関する ASEM 会合の開催を歓迎。2015 年に仙台において第 3 回国連防災世界会議が開催されることを歓迎。農業生産性のための研究開

発，農業慣行，農業多様性の保全，気候変動の影響軽減のための最先端技術活用等へ注意を喚起。農業者の生活を守りつつ，食糧価格の変動に対処する措置への共通した関心を強調。

- 開かれた，競争的な，グローバルに統合されたエネルギー市場の重要性を強調。各国の状況に応じ，持続可能なエネルギー・ミックスを得る必要性を認識。情報共有，代替エネルギー及び再生可能エネルギーの開発を通じてエネルギーへのアクセス及びエネルギー源多様化の促進に注力。エネルギー効率増加・エネルギー保全，途上国が環境に優しい技術を使用することを支持。

4. 国際情勢及び地域情勢

- リトリートにおいて多くの共通した地域及び国際的な関心事項について忌憚のないかつ建設的な意見交換を実施。
- アフガニスタン，イランの核開発，シリア，中東和平プロセス，リビア，エジプトを含む中東・北アフリカ情勢，アフリカの角情勢，海賊，不法移民，国内避難民，紛争における弱者保護，北朝鮮の核開発プログラムを含む北東アジア情勢と朝鮮半島情勢，航行の自由，海洋安全保障，核兵器のない世界と大量破壊兵器不拡散，国連安保理改革を含む多国間機関の効率性向上，COP19への期待，第9回WTO閣僚会議への期待，北極評議会の下での協力。

5. アジア欧州財団(ASEF)

- 市民社会においてASEMに関する認識を高め，アジアと欧州間の人的交流を促進しているASEFの貢献を評価。

6. 2016年のASEM20周年記念

- 高級事務レベルによる勧告に基づき2016年のASEM20周年記念に向けた詳細な戦略・工程表を策定するパートナー国作業グループを設置。

7. ASEMの拡大

- 2013年7月1日にクロアチアが第28番目のEU加盟国となり，ASEMへの参加を希望していることに伴い，2014年中は全ASEM会合において「議長のカスタム」として出席を歓迎し，明年，伊ミラノにおけるASEM10首脳会合において最終決定。

8. ASEM10首脳会合に向けた準備

- ASEM10首脳会合は2014年後半に伊ミラノで開催される予定。

9. ASEM第12回外相会合

- 2015年のASEM第12回外相会合のルクセンブルクでの開催提案を歓迎。

付属文書1—ASEMの具体的協力分野における主要案件リスト

付属文書2—2013年及び2014年におけるASEMイニシアティブ

付属文書3—2013年及び2014年におけるASEFプロジェクト

付属文書4—プレス／広報戦略のための議論のためのリスト